www.chikamori.com ● 高知県高知市大川筋一丁目 1-16 〒780-8522 tel. 088-822-5231 発行者 ● 近森正幸 / 事務

新しく近森会で働く皆さんへ

忙しくても活き活きと働こう

社会医療法人近森会理事長 近森 正幸





病院をとりまく環境変化

21世紀を迎え、病院を取り巻く環境は大きく変化しています。急性期の基幹病院では画像診断や臨床検査の専門性も高まり、人工心肺や人工呼吸器といった医療機器や薬剤なども高度化し、多くの医療専門職が必要となってきました。高齢社会の到来で骨格筋の乏しい高齢患者が増え、低栄養や廃用が大きな問題となり、栄養サポートやリハビリテーションが欠かせません。さらに、出来高払いからDPCによる一日包括払いに変わることで、病院の業態も物品販売業から付加価値を売る労働集約型医療サービス業に大きく変わってきました。

「患者さんを早く治し、早く自宅へ帰っていただく」という付加価値を出すためには、必要な業務をすべて行なって、アウトカムを出す必要があります。これにより業務量は膨大となり、従来の医師、看護師中心の少数精鋭の医療では対応しきれず、多職種による多数精鋭のチーム医療が不可欠な時代となってきました。

病院のハードの変革

患者さんの治療空間やスタッフの居住空間の拡大も求められ、2010年の春から近森病院の全面的な改築を行う五カ年計画がスタートしました。現在、新本館の建設が進んでおりますが、来年の春には屋上にヘリポートを有する地上13階建ての建物が完成します。こうした一連の工事により、近森病院は、高機能の急性期病院となり、延床面積も3万7,088平方メートルと従来の1.66倍に拡張することになります。

さらに、江ノ口川南岸のボウルジャンボ跡地を利用させていただいて、新しい近森リハビリテーション病院を建設し、リハ病院移転後の建物は全面改装され、近森オルソリハビリテーション病院が入る予定になっています。

病院の組織原理の変革

多職種による多数精鋭のチーム医療を行うためには、増大する業務量に応じて医師、看護師ばかりでなく、医療専門職を増やさなければなりません。同時に、スタッフが医師の指示のもとに業務を行うのではなく、多職種がそれぞれの視点で患者さんを診て判断し、直接患者さんに介入するという、自立、自動することが求められています。これにより全人的な医療が可能となり、医療の質が上がるばかりでなく、労働生産性も向上し、多くの医療専門職により必要な患者さんすべてに、必要なときに必要なすべてのサービスが提供され、サービスの質が向上して患者さんが飛躍的に良くなることを実感しています。

医師を頂点とするピラミッド型の医療組織から脱し、多職種が平等で連携して「患者さんを早く治し、早く自宅に帰っていただく」という、共通の目標を持ったフラットな組織に変わろうとしています。

幸せな人生を送るために

入職一年目から海外旅行を楽しみ、パートナーを見つけて結婚し、子どもができたら医療専門職としてまた近森に入っていただく、医師をはじめすべての医療専門職が、忙しくても活き活きと働き、幸せな人生が送れる、そんな「いい病院」になればと願っています。

● 医療今昔物語 ● 消化器内科 3

知らなきゃ損する ピロリ菌の話

近森病院消化器内科

部長 岡田 光生



今年で33歳になります

今年でピロリ菌が発見されて33 年目です。胃のなかは金属をも融 かすような強い酸性なので細菌は住め ないと思われていました。しかし、ピ ロリ菌はたくみな仕組みによって持続 的に感染し、慢性胃炎をおこし、胃・ 十二指腸潰瘍、胃がん、リンパ腫、さ らには消化管以外の疾患の原因になる ことが解明されました。

ピロリ菌の発見はまさに世紀の大発 見であり、発見した医師たちはノーベ ル医学賞を受賞しました。

4目の歳時記

チューリップ

近森病院 ICU 看護師 山邊 亮平

チューリップは色 や花の形など多種多様

なものがあります。また、そのなか の一部の品種では、球根や花弁を食 べることができるものもあるそうで す。興味のある方はぜひ試してみて ください。しかし、一般的な品種 では毒性をもったものが多くあるた め、安易に食べるのは避けたほうが いいようです。 やまべ りょうへい



身近な存在です

ピロリ菌は全世界の約半数の人 に感染しています。発展途上国で は感染率が高く、先進国では低い 傾向があり、乳幼児期の衛生環境に関 連しているといわれています。

日本人の約50%以上がピロリ菌に 感染しています。なかでも50歳代以 上では70パーセント以上の人が感染 しています。

感染すると必ず病気をおこすわけで はありませんが、実に胃潰瘍患者の約 80 パーセント以上、胃がんでは98 パーセントがピロリ菌感染者であ るとの報告もされています。

これからも末長くよろしく

ピロリ菌は除菌治療をしな い限り、生涯感染し続けます。除菌治 療は、薬を1週間服薬して行います。 1回の治療で70パーセント、2回の

映画好きの職員が近森会には多い

ようですが、最近いい映画を観まし

たか? 映画は読書などと同様、感

情移入ができ、他人の人生を疑似体

験できる手段の一つといわれていま

す。「人生のすべては映画から学んだ」

以来、毎月第3木曜日18時から第3

若い看護師が多い職場なのでその

年齢にふさわしい恋愛作品を多く上

映しており、クリスマスシーズンに

という本もあるよ

うに、映画を単な

る娯楽として観る

のではなく、人生

の教科書的な意味

合いで観る人もい

近森会の映画好

きの同好の士が集

まって平成23年8

月、近森シネマク ラブを立ち上げま

会議室で上映しています。

るようです。

治療で 95 パーセントの人で菌がいな くなります。

今年になり、実質すべての除菌治療 で健康保険が使えるようになりまし た。慢性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、 胃リンパ腫と診断された方や、胃がん の内視鏡切除を受けられた方は、除菌 治療を強くお勧めします。

症状がなくてもピロリ菌感染が心配 な方は、消化器内科の医師にご相談く ださい。 おかだ みつお

はクリスマス映画を選んでいます。 ただ残念なことは参加者が毎回10~ 20名前後と少ないことです。その理 由の一つは DVD などが簡単に安価で 手に入るようになり、好きな時間に 個人でゆっくりと楽しみたいという

> 人も多いためかも 知れません。

- 私の流儀 --- 6

近森シネマクラブ

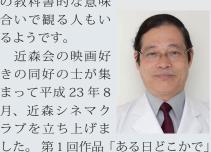
近森病院神経内科

主任部長 やまさき まさひろ

好きなことは一 人で、という個人 主義もいいですが、 映画を観て喜びや 悲しみを共感、共 有する姿勢も人と して大事なことと

思います。携帯、コンビニ中心の世 の中になり、人に煩わされず狭い範 囲でしか生きていない若い人には映 画を観ることは大事なことと思って います。

世間を知り、人間を理解するため にも、またたくさんの生き方を経験 するためにもぜひ足を運んでくださ い。飲み物、軽食つきですよ。



看護部 キラリと光る看護 part2

老人看護専門看護師藤田先生から学ぶ

高齢者や家族の生きる力を 引き出す看護ケア

近森病院 ICU 看護師長 工藤 淑恵

高知県立大学老人看護学教授の藤田 冬子先生は老人看護のスペシャリスト である。昨年5月から、週1回(火曜日)CCU~ICUで共に患者さんやご家 族へのケアについて、実践や助言をしてもらってきた。

ICUでは、高知県の現状にもれず後期高齢者の患者さんが占める割合は高い。そのなかで、治療により生じた合併症へのケア、とくにせん妄の評価とケアなどにおいて、専門看護師としての知識や技で私たち看護師を支えてくれている。

火曜日の朝は、スタッフと共にカンファレンスに参加し、受持ち看護師から介入してほしい患者さんや内容を出して、1日2~4例の患者さんに介入している。

入院や治療、安静でせん妄を発症した患者さんを、ニーチャム混乱、錯乱スケールを用いて認知機能を測定、せん妄を発症した要因を分析して、要因

に基づいた睡眠の確保への助言や、生活リズムを整える関わりなどのケアの 選択を行い実践している。とくに高照 度光療法は、副作用もなく概日リズム を整えるのに効果があり、藤田さんの 指導のもとにスタッフのなかにも定着



してきた。

藤田さんの実践からいつも教えてもらうことは、患者さんやそのご家族、「その人を知る」ことの大切さ、そして真摯に向き合うプロとしてのぶれない姿勢である。

今後は、藤田さんの知識や技を継続して実践するために、研修も企画して、スタッフ全員で貪欲に吸収していきたい。また、ICUだけでなく多くの病棟にも藤田さんの実践を広めていきたいと考えている。

秋の趣味 模型作り 55年!

(有) 石原産業社長 石原 寛





幼いころ父に手を引かれて、洋画専門のリベラル劇場(今はありません)によく連れて行ってもらいました。銀幕に繰り広げられる異国の匂い、本番直前に必ず上映される白黒のムービートーンニュース、自分の知る以外の出来事がたくさんあるのを感じました。ニュースや映画に出てくる潜水艦、航空機、戦車、戦艦など、強烈に脳裏に刻まれたのでしょう。

いにしえの大橋通り商店街、今はひろめ市場になっていますが、そこに「たけや模型」がありました。戦争で片足を無くした店主が終戦後に開業した店です。私が毎日のように訪れると、「坊、坊」と店の奥の工作室に招き入れ、製作途中の模型を前に、作りながら手順やこつ、エピソードなど、講釈を交えて話して聞かせてくれました。

飽きっぽい性格の私が55年余も続けた趣味は模型作り。現在の仕事に役立っていればうれしいですね。

いしはら ひろし

メディカルスタッフ・ワークウエア 10

⑥アテンダント、にしました。 ことを目的にで職務の意味 のユニフォーム構成になってい 場管理/老若男女問わず、 出る事を意識しています。 を見て子供 ③外来警備 種が区別できることを意識 事者がいるなかで、ひと目で職①クラーク/さまざまな医療従 でも似合うピンク色を使用して)施設管理 |機能を優先して 9種類の仕事、 意味を第三者に伝える /このユニーフォー ひと目でわかるよう たちが安心し笑 にしています /建物のお助けマン 、 7 種類



第2回近森会健康保険組合講演会 ■

新型うつの 理解と対応

健康保険組合 事務局長 田村 裕彦



くことで適切な対応が出来るように と、所属長や主任、リーダーの皆さん には少なからず関心があったのではな いかと思います。

新人の育成にあたる立場の方など80名を超える参加をいただき、盛会となりました。講演では古典的なうつ病のお話や、パーソナリティ障害、発達障害がベースのうつであっても、すべてうつ病ということになったこと、そして新型うつ病の特徴や望ましい対応など、時に笑いや症例を織りまぜながらのお話でした。

多くの方の「いざ直面したときにどのような対応したら良いだろうか」という疑問に答えを示していただくことができました。

たむら ひろひこ



宮﨑洋一第二分院副院長

平成25年3月11日に第2回の近森会健康保険組合講演会を開催しました。今回は第二分院の勉強会との共同企画で、「新型うつの理解と対応」というテーマで第二分院の宮﨑副院長に講話をお願いしました。

近年とくに若い人に多いといわれる 新型うつですが、4月には新入職員を 多数迎えるため、その理解を深めてお

近森病院での研修を終えて・後篇

話すことの大切さを 気づかせてもらえた研修に

医療法人須崎会高陵病院看護師 松本 真由美



研修2カ月目は近森病院北館3階でした。初めは不安と緊張で辛いと感じることもあり、自分から話しかけるのが苦手な私は、休憩時間は自分の車で過ごすことが日課になっていました。しかし、毎日声をかけてくれるスタッフや、厳しい勤務状況と業務のなか、

なにもできない私に対して「ありがとう」「松本さんがおってくれて良かった」と声をかけてもらい、次第に打ち解けることができました。私が人見知りだったと聞いて、北3の方は驚いていましたが、それは北3のスタッフの笑顔と温かさのお陰です。

今まで個人プレーで仕事をしてきたことが間違いであり、同僚に対して壁をつくることが、自分にとってどれだけマイナスであったかを気づくことができました。私は、看護師としてはマイナスとなる、人との関わりが苦手で逃げたいとも思う人間でした。そのため看護技術だけは誰にも指摘されないよう必死に覚え、その技術だけで看護師として認められようとしてきました。今回研修をさせてもらい、私は人の温かさや話すことが、看護でも、生きていくうえでも必要なのだと痛感しました。

SCU と ER は 1 日の研修でしたが、 高陵病院にはない看護を見ることで、 看護師という職業に今まで以上に興味 を持つことができました。ER のスタッ フが忙しいなかでも笑顔で仕事してい ることにも感動しました。

2カ月間、私を受け入れてくれた近森会の方々に感謝をし、看護師として今後も学び、成長していきたいと思います。ほんとうにありがとうございました。 まつもと まゆみ

ワイン講座 ● 10

ワインの王様 「ブルゴーニュ」 その①

今から 20 年ほど前、ワインの修業をした産地で、とくに思い入れがあるため何回かに分けてご紹介させていただきます。

現地で生活するまで、「ブルゴーニュワインは厄介だ」と感じていました。ちょっと名の知れた村のブルゴーニュワインを選ぶときは細心の注意が必要です。なぜなら、同じ名前のワイン、例えばシャブリで、その品質、価格はバラバラ。そして、同じような名前の生産者が存在し、お目当ての生産者のワインに辿り着かなかったり、時間が掛かったりと・・・・。

なんとなく聞き覚えのある村のワインで あればあるほど、生産者がキーポイントと なるのがブルゴーニュワインの特徴です。 ブルゴーニュは、並級、プルミエ・クリュ(1 級)、グラン・クリュ(特級)と畑が格付 けされていますが、プルミエ・クリュでも、 「マルサネ・ランセストラル」生産者: シルヴァン・パタイユ/生産地:ブルゴーニュ地方マルサネ村/マイナーで評価されることが稀な村のワイン。派手で濃縮されたスタイルではなく、全てのバランスが良く繊細な味わい。

グラン・クリュを凌ぐ生 産者のワインも多く存在 します。

自分好みのワインを見つけるのに、好みのぶどうの品種を覚えるのも近道かもしれません。もう一歩踏み出して、好みの生産者を見つけては如何でしょうか。

次回からは、その②畑 の話、その③コート・ド・ ニュイとコート・ド・ボー ヌ、その④農民の造るワ

イン、その⑤ブルゴーニュ最高のワインとは、の順番でブルゴーニュワインのお話を 進めてまいります。

鬼田知明(有限会社鬼田酒店代表)



ザ・RINSHO 11 画像機器の今昔 5

MRI 装置(後編)

近森病院画像診断部診療放射線技師 主任 島 崎 悟

1998年12月に1.5テスラのMRI が新たに設置され、MRI が2台体制になり、これにより撮影件数と画質が飛躍的に向上しました。また、救急診療には欠かせない頭部 diffusion(ディフュージョン)撮影が出来るようになり、超急性期脳梗塞の診断が可能になりました。

ハッスル研修医

明日への前進あるのみ!



研修医 滝内 るり子

慌ただしい1年間が過ぎ、再び桜の 咲く季節となりました。私にとってこの1 年で最も大きかったことは患者さんとの 別れでした。

初めてある患者さんと親しくなり、とても嬉しくて毎日会いに行ったことを覚えています。ご家族との関わりのなかで、病気はご家族の人生さえも揺り動かすものだと実感しました。その患者さんが亡くなったとき、こんなにもつらい思いを今後何度も繰り返せるのだろうかと悩み、患者さんと関わることが怖い時期もありました。

でも、ほんとうにたくさんの笑顔を、元気をもらえたから、この別れに背を向けることはできないと思いました。今私は、一歩ずつ前進しています。この胸の痛みが何倍もの患者さんの笑顔になることを夢見て、不器用なりに頑張っていきたいと思います。患者さんやそのご家族、そして生と死、それらとどのように向き合っていくのか、それが私の医師としての課題の一つです。

今年はより多くの患者さんを元気にできる、素敵な1年となりますように。

たきうち るりこ



現在は外来センター3階と本館1階

に 1 台ずつ GE 社製の 1.5 テスラ MRI

が稼働しています。最近の撮影技術の

傾向として、従来メインだった2D撮

像から 3D の様に厚みのあるボリュー

ム撮像の検査頻度が高くなりました。 ボリューム撮像の場合には、後から元

画像を使用して目的別に画像を再構築

例えば腹部では造影剤を用いること

なく血管を描出する非造影MRA①や

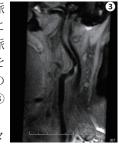
肝特異性造影剤(EOB)を用いた全肝

することが出来ます。



す。また、頸動脈 狭窄の患者さんに はプラーク (動脈 硬化病変) 評価を 行う為に、頸部の ボリューム撮像③ をします。

その他にも様々



な新しい撮像方法がありますが、撮影スピードやデータ処理速度の向上など、MRI装置は年々確実に進歩しています。

しまさき さとる

3D ダイナミック撮像②などがありま 院 外 エ ッ セ イ

たからもの

山岡 遵



やまおか じゅん 1951 (昭和 26) 年いの町生まれ。 「おおのたまらん探検隊」「仁淀川探検記」を主宰し、 南の島に、谷にと日々怪しげに行動する。最近はサ ワガニ、河原の石にとりつかれ、仁淀川のお宝探し に没頭する。いの町役場退職後、現在いの町史編纂 に携わる。趣味は山登り、スケッチ、うどん

私の横で、5歳の孫娘と娘が話し をしていた。

「ママには秘密の言葉があるよ」 「ママなーに」

「いたどり亭」

これは我が家の会席料理店の名前です。平成15年12月に妻、妻の妹、私と私の母と姉の5人が集まり、自宅で会席料理店をする話し合いを持ちました。

開店するにあたって、みんなの分担を決めました。妻の女将は料理、母は天ぷら専門、妹は掃除、私は洗方、姉は掛け軸や生花など部屋のしつらえ。「人のことは手伝えんけど、それでもやるかえ」みんなやるといいました。そして、どうせやるなら10年間はやろうと決めました。

こうして平成16年2月にいたどり 亭が開店しました。お客さんは夜の 1組だけにしました。素人の我々が 100パーセントのもてなしを出すた めです。店のある日は、みんな緊張 感を持ち所定の位置に着き、お客さ んが来るのを静かに待ちました。 3 年の月日が経つうちに、お客さんの 縁で、県外の娘二人も高知に戻り結 婚、就職しました。孫が生まれ、い たどり亭の家族は親子 4 代とにぎや かになりました。孫もお客さんの前 で歌を披露して、いたどり亭の一員 となりました。

いたどり亭が、いつの間にか一人歩きしていることに気づきました。お客さんに料理を提供するいたどり亭が、家族みんなの元気な姿が見られる場になっていたのです。いたどり亭をやってよかったと実感しました。

そんないたどり亭は、女将の病気を理由に今年の2月で閉店しました。目標の10年続けることはできませんでしたが、8年間共通の目的で充実した時間を過ごすことができました。妻は、たくさんの友達ができてよかったといいます。

いたどり亭で過ごした時間は私たち家族のたからものです。また、次のたからものを探さんといかんよ。

■ 第 107 回地域医療講演会 ■

明日からすぐ使える漢方講座



近森病院副院長 内科部長 浜重 直久

十全総合病 院内科医長の 浅羽宏一先生 は、平成5年

から2年間近森病院内科で研修後、高 知大学、愛媛大学などで永年学生や研 修医教育に携わってこられました。総 合内科医として内科全般を診るかたわ ら、漢方医学にも造詣を深められ、現 在も高知大学総合診療部に診療や講義 に来られています。

近森の若い先生たちにも是非漢方医 学の魅力を伝えたいということで、2 月19日、「現代医学の病名・病態か ら漢方薬を choice する一明日からす ぐ使える漢方講座―」と題してご講演 いただきました。

生薬の組み合わせがいろんな症状に どうして効くのかわかりやすく解説 していただき、明日からの診療に役立 つ実践的な内容であったと思います。 困った症例があれば気軽に相談させて



いただくといいかと思います。 はましげ なおひさ

理事長賞 「無題」

近森病院5B病棟看護師 高橋 幸子

木炭を使って初めて 描いたデッサンで画材 の質感をどのように表 現するか悩みながら仕 上げました。理事長賞 という素晴らしい賞をい ただくにあたり、理事長 から表現力について評



価して頂いておりとても嬉しく思いました。 たかはし さちこ



第一回近森会グループ芸術祭を開催して

2008年から写真展を開始し、広く好評を得ていましたが、その一方で他分野からの 芸術作品の展覧希望の声もありました。そこで、今年度はとくに領域を問わず作品募

集をおこないました。その結果、従来の写真に加え、絵画や手芸作品 などなどを応募いただきました。すばらしい作品ばかりであり、予想以 上に多様な出展に少々驚かされました。今後もこのような展覧会を引き 続き開催していきたいと考えています。

コミュニケーション委員会委員長 片岡 真一

管理部長賞 「コバルトブルー」

近森病院臨床検査部主任 輸血検査 米澤 眞理子

昨年10月院内旅行 でニューカレドニアのイ ル・デ・パン島にフェリー で着きました。その時 の海の色がコバルトブ ルーで美しく岸壁にか もめが勢ぞろいして迎



えてくれた風景が印象的で、何枚かシャッ ターをきったなかの一枚です。また今年も 院内旅行に行って写真を撮ります。

よねざわ まりこ



この青さが近森会の青さに通じて、白い 烏たちがとれから飛び立とうと、ずっと沖 を見ている。近森会の未来に向かつては ばたくようだ。

看護部長賞 「ショートパンツ」 総務課教育担当 岡崎 千沙

何の気なしに話した 趣味の話が、まわり廻っ て、とあるコミュニケー ション委員の方のお耳 にまで入ってしまい、春 の芸術祭への出品とな りました! 結果、統括看



護部長賞を頂くことができ、恥ずかしいや ら嬉しいやら…。ありがとうございました。 おかざき ちさ



「唐草模様のショートパンツでさっそう と歩きま賞」フリルのついたかぼちゃパン ツの製作に挑戦した芸術性、それを着用 して出勤した天然に感服しました。あなた の人柄は近森会のコミニケーションのあり 方として異彩を放ち、人類を救っています。



春の芸術祭にふさわしい質・量ともに最 も優れた作品である。黒の単色だけで貝 設・ガラス瓶・セメントの質感をうまく表 現しているところがすばらしい。

コミュニケーション委員長賞「お正月」 オルソリハビリテーション病院 5 階病棟 看護師 筒井 ますみ

絵手紙教室に通い始めて1年目。お正 月に向けて書いた羽子板です。「へたでい い、へたがいい」の教えの通りなかなか上 手には書けませんが、今後も趣味の1つ

としてずっと続けて いきたいと思います。 受賞ありがとうござ いました。





市販用のものはときどき拝見しますが、 趣味での手作り作品には少し驚きました。

■ 第 108 回地域医療講演会 第 16 回医療安全セミナー

加齢とともに低下する ことばや行動

近森病院第二分院 4階病棟看護師主任 永田 敏博







岡本看護師長 岡村看護師:

岡村看護師長 濱口大介氏

院外 96 名、院内 30 名が参加し、「認知症患者への倫理的配慮(老人看護専門看護師岡本充子看護師長)」、「不穏患者を対応したスタッフのストレスケア

JICA ボランティア表敬訪問

青年海外協力隊員としてタンザニアで2年間活動を行った理学療法士の村上野志夫さんが、3月18日(月)に、高知市役所と高知県庁に表敬訪問しました。活動報告をする中で、協力隊員として培った経験を生かし、今後も発展途上国への支援をしていきたいと決意を新たにしました。



村上さん (左端) と隣がドミニカ共和国へ派遣される鈴木和廣さん。手前左が「ひろっぱ」の村上さんのタンザニア通信の記事を読む知事





(うつ病看護認定看護師岡村邦弘看護師長)」、「不穏状態へのアセスメントとその時一人でできること(海辺の杜ホスピタル看護部の濱口大介氏)」のお話がありました。

加齢とともに低下することばや行動 による表現力を察知することが必要で あることや、自分が変われば相手が変 わる、まず自分の行動を変えていくことが大切であるなどのお話とともに、 患者さんとスタッフ双方の安全についての質問などや安全な方法や手技についての実技指導があり、たいへん有意 義なセミナーとなりました。最後に設 営にご協力いただいたスタッフの皆さんへお礼申し上げます。

ながた としひろ

近森会とると保育室と

「そると」のみんなで「おひなまつり」や「西島園芸団地」 でのお別れの遠足会を楽しみました。







3月1日には「おひなさま」を楽しみました



イベント弁当

近森病院 北館 3 階病棟 看護師 橋村 和樹

仕事の日は毎日欠かさずに妻が手作りのお弁当を作ってくれるので、ほんとうに感謝しています。お弁当作りのモットーは、必ず一品以上は手作り料理を入れることを心がけてくれているそうです。毎日忙しくたいへんですが、お弁当を開けるのが毎日楽しみです。ハロウィンやクリスマスなどのイベント事には、キャラ弁を作ってくれます。食べるのが勿体無いですが、写真に収めて美味しくいただいています。

妻は「明日のおかずに悩まされることも

あるが、楽しみなことも多くイベントが近づいてくると内緒で時間をかけて準備し、当日(私の)喜ぶ顔を見ると頑張って作って良かった、次のイベントまでまた頑張れる。普段は、冷凍食品に助けられながら作るお弁当も、残さず綺麗に食

べてくれるので本当に有難い」といっています。

いつも美味しいお弁当や家事をありが







とう。 どんなに忙しく ても、自分の時間を割 いてくれて感謝していま す。 はしむら かずき

2013 年初め

第9回中四国糖尿病研修セミナー■

食事療法と運動療法が 治療の基本

近森病院糖尿病・内分泌代謝内科 部長 公文 義雄



この度、第9回中四国糖尿病研修セ ミナーを3月3日に岡山でつつがな く開催させていただいた。糖尿病は生 活習慣に起因するものであり、薬物療 法の前に食事療法と運動療法が治療の 基本である。ここに介入できるのは患 者自身と医療者全体であり、糖尿病診 療におけるチーム医療の役割が期待さ れているところである。

当日は幸い天候にも恵まれ517人 もの医療者の出席をいただき、「有用 な研修であった」などの有難いメッ セージもいただいた。このイベントを 弾みに高知県の糖尿病診療に当院全員

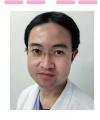


で貢献できればたいへん嬉しい限りで ある。多くの先輩諸兄にご指導をいた だき開催できたこと、短い準備期間に も拘らず当院から最大限のご支援、ご 協力をいただいたことを最後に記して お礼にかえさせていただきます。

くもん よしたか

近森病院での9年間

近森病院栄養サポートセンター



科長 真壁 昇

2004年、管理栄養 士4名の職場に着任し ました。着任早々、旧 5階西と東病棟、ICU、 CCU、HCU の 5 病 棟 を5年間受け持ち、そ の過程で部員を大幅 増員したことで 2008 年からは後進の管理



栄養士教育に尽力し、現在では22名の 大所帯となりました。また365日、時間 が許すかぎり、整形外科の先生はじめ CFFC (Chikamori Fun Fishing Club) の先 生方と雄大な太平洋に船を出し、戦略的



な釣りを楽しむことが でき、on も off も充実 した9年間を過ごしま した。これもスタッフ 皆さんのご支援のおか げであり、心より感謝 申し上げます。

私の歩みは、恩師で ある宮澤部長との出会

いから始まりました。当時の部長は「日本 の栄養管理は先進国と比し20年遅れてい る。栄養は日本の医療を変える。治療成 績も各段と上がるであろう!」と断言され、 共鳴したことを覚えています。

近年、研修医制度が変わり、大学医局 が変化し、高齢社会の到来と DPC 算定が 始まるなど、チーム医療なしでは、よい病 院として生き残れない時代となりました。 時代が、病院変革を要請している昨今、 常に前進する近森病院で仕事ができたこ とを、とても幸せに思います。

近森院長と出会い、一緒に栄養サポー トを行う過程で、かねてからキャンパスに 描いてきた理想図が、現実ものへ近づく 加速感を実感してきました。

高齢社会の到来で「栄養とリハビリは、 車の両輪」とならなければ、寝たきり製 造病院となってしまう。 結果的に NST の 診療報酬の土台をつくり、厚生労働省か らも評価をいただいてきました。

私はこの現場で、その手や足となり、仕 事ができたことを誇りに思い、感謝してい ます。また周囲の先生方はじめ他部署の スタッフから、激励やご支援をいただき、 常に前進してくることができ、たくさんの 経験知と暗黙知を得ることができました。

共に走ってきた臨床栄養部の皆さん、 みんなが応援してくださったことを、心よ りお礼申し上げます。家庭の事情で、こ れから働く場所が少し変わるだけですの で、我々の分野の頂上で再会しましょう! CFFC メンバーとは海上での再会を! 名残惜しくも、会津へ帰郷します。

まかべ のぼる

乞!熱烈応援

眼目は振れずに

診療支援部部長補佐 企画課課長 山崎 啓嗣



企画課は多くのプロジェクトに関与して おり、「現場の職員がコア業務へと集中で きる環境づくりにつなげていく」という診 療支援業務の眼目は振れずに取り組んで いきたい。そのためにも現場へしつかり足 を運び、実態を知り、また地域の医療関 係者、患者さんなど多くの視点で情報収 集し、組織のバインダー的役割を担って いける部署に成長できるようコミュニケー ションを大切にしていきたいと思います。 未熟者ですが、ご指導、ご支援をよろしく お願いいたします。 やまさき ひろつぐ

気持ちよく過ごせるように

四国管財株式会社 お客様係&ディレクター 筒井 潤



四国管財は経営理念として「私達は、自 分たちの夢の実現の手段として四国管財 においてお客様に『笑顔と挨拶と報連相と 環境を意識した丁寧な仕事の実践』によ り自分を含め全ての人々に感動を提供致し ます」をかかげております。近森会にかか わられる皆さんが、より快適な環境のなか で気持ちよく過ごすことができるように、 微力ながら今までの経験を最大に活かし て精進してまいります。どんな些細なこと でも結構ですので前任者同様、気軽にお 声を掛けて下さい。 つつい じゅん

柔軟な発想で

現実直視をモットーに

メジャーリーガーのように

外資系投資銀行のモルガン銀行東京 支店に新卒で入行して20有余年、その間には競合他社への移籍を複数回、また海外赴任も経験した。年俸契約のプロが集まる業界では、自分の力が発揮できる組織へ籍を移すことやヘッドハンティングはごく普通のことだという。メジャーリーガーの移籍のようなイメージだろうか。この元バンカーが近森会に入職したのは昨夏、高知市内はよさこい祭りで賑わう時期だった。

いかにも華やかな大都会の金融の世界から地方の病院勤務への転身は、勇気のいる大きな決断のようだが、本人からはおよそそんな気負いは感じられない。経済学の基礎知識でも説明するかのように、その経緯を語ってくれた。

充実感の先、限界を超えた金融リスク

金融は経済の血液、「資金」を扱う 仕事で、「経済」とは朱子学の経世済 民-世を治め民を救う-という意味を 持つ。全ての産業と関わり、社会的責 任が重く、規制もコンプライアンスも 非常に厳しい世界、それが金融業界で ある。その仕事は丹念なリサーチと分 析に基づく決断と実行の繰り返しで、 世界の投資家の厳しい目と当局の監督 のもと、継続的リターンを生みだしつ つ成長分野への資金供給、時には勇気 ある撤退をも決める厳粛なものだ。就 職先にモルガン銀行を選んだのは、関 東大震災に見舞われた日本の復興債 を、単独で引き受けた銀行だったか ら。そんな使命感のある仕事に憧れた。 厳しい仕事で勉強ばかりの毎日だった が、上司やチームメイト、そして顧客 には恵まれた。業界の規模拡大に伴っ て業績は伸び、キャリアも順調に重ね ながらの20年だった。

一方、全ての事業は金融市場と密接 に連動するため、人間の判断ミスを最 小限に抑えながら最大のリターンを得 る目的で、極めて高度な金融工学とプログラムが市場に導入され普及した結



▲仕事中

果、2008年のリーマンショックが起きた。英知を極めたはずの仕組みで拡がった金融リスクは人間の回収能力を超えていた。誇りと気概を持って続けてきた仕事ではあったが、大きな節目を感じ、一線を引くことにした。

経緯は、およそこんな内容だった。

本領発揮の場を求めて

ではなぜ医療の世界を希望したのだろう。まず、医療業界は外から見ると改革の余地があり、関わってみたいと思ったため。さらに、金融と似た社会的責任や使命感を求められる世界は医療しかないと思ったから。ついでに、自身は予防医療や運動、食事に「健康オタク」であったため、だった。

「別の業界で培った力を発揮してほしい」という近森会の募集を見つけたとき、「これだ!」と直感。バンカーとしての最後4年間、CEOの近くで携わった経営管理は業種をこえて活かせると確信し、医療の現場なら願ってもなく、その思いを応募に込めた結果、それが近森会での第一歩に繋がった。

この並み外れた実行力と熱心さ、しかも家族に反対された様子もなく、夫と二人で全く縁のなかった高知へ転居する行動力。これらはいったいどんな風に培われたのだろう。



▲ 1997 年、クリスマス仮面パーティで、当時 の上司や同僚との思い出の一枚

先入観や一般論に囚われない素直さ

富士山の北麓、山梨県富士吉田市で 大学進学により上京するまで過ごした。スーパーマーケット経営の旅好き で大らかな両親に育てられ、中学生の 頃から海外の暮らしや旅行に興味を 持った。

幼い頃から物事の吸収が早く情報収 集が得意で、学生時代は通信社の記者 の仕事に憧れ、旅行関係の仕事も考え た。そんな多感な学生が就職活動を始 めた時期、恩師に「取材する記者やツ アーサービスと違い、投資銀行業は本 業で世界と関われる。その存在感は必 ず増す」とアドバイスを受けた。

当時、外資系金融機関を知る人は殆どおらず、自身も金融業界への就職など考えたこともなかったそうだが、その言葉を受け、結局はモルガン銀行へと決断した。

先入観に囚われない柔軟な思考は、 大好きだという両親の、「雑念を持た ずシンプルに本質を見る」姿勢を受け 継いだ彼女らしいものなのだろう。

真のアドミニストレーターとして

この春、診療支援部から看護部長室 へ異動になった。長年の習慣からか、 四半期ごとに成果を出せないと落ち着 かないそうだが、看護部長補佐として、 今後は標準化を軌道にのせ、現場を支 える「真のアドミニストレーター」と しての役割を追求、確立したいと抱負 を語ってくれた。経験を還元しながら 多くを吸収したいと、熱くて沈着な希 望に燃えている。

編集室通信

比較的こだわりの少ない私ですが、 肌さわりのよいものが大好きです。特 にタオルは店で見ればすぐ触り、通販 で「おすすめ!」とあれば購入したり。 お勧めは最近購入した今治の「雲ごこ ちタオル」ですが、その他通販商品も 侮れず。皆さんの「イチオシ!」があ れば、ひろっぱ編集部までお声掛けく ださい。(須)

「2013 年 2 月の診療数 システム管理室」

近森会グループ 外来患者数 16,355 人 新入院患者数 756 人 退院患者数 765 人 近森病院 平均在院日数 14 47 ⊟ 地域医療支援病院紹介率 83.26 % 救急車搬入件数 352件 うち入院件数 184件 手術件数 372件 うち手術室実施 247 件 →うち全身麻酔件数 137件

平成25年2月度県外出張件数件数70件延べ人数145人

図書室便り(2013年2月受入分)

- ・OS NOW Instruction 整形外科の新標準 25 人工関節置換術の合併症対策テクニック予防と対処のコツ/岩本幸英(担当編集)
- ・臨床検査のガイドライン JSLM2012 検査値アプローチ 症候・疾患/日 本臨床検査医学会ガイドライン作成 委員会(編集)
- ・「長生き病」を考える -老年医学の 道を歩んで-/小澤利男
- ・健康長寿診療ハンドブック 実地医学のための老年医学のエッセンス / 日本老年医学会(編集)
- ・病医院経営シリーズ 14 知っておき たい病院用度の常識 60 / 幅田芳弘
- ・病医院経営シリーズ 16 病医院の企

画・営業機能アップへの道 60 / 丸太浩一

《別冊・増刊号》

- ・別冊 医学のあゆみ 造血幹細胞移植の最新動向/黒川峰夫(編集)
- ・別冊 NHK きょうの健康 くわしく知りたい 目の病気 白内障・緑内障・加齢黄斑変性/大鹿哲郎(総監修)
- ・BRAIN NURSING 2013 年春季増刊「お勉強」と「患者説明」、二つの使い方できる! イラストでまるわかり! 脳神経外科の疾患&治療 / 高橋 淳(監修)
- ・医薬ジャーナル 2013 年増刊号新薬 展望 2013 / 政田幹夫(他企画編集)